

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社 別処電線製造所	階数	地上2F
建設地	茨木市蔵垣内1丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	25人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2019年3月20日
敷地面積	2,629㎡	作成者	坂下 茂
建築面積	1,227㎡	確認日	2019年3月22日
延床面積	2,294㎡	確認者	坂下 茂



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	LED照明など的高効率機器を採用し、省エネルギー性に優れた建築物となるように配慮した。敷地内には、可能な限り平面と屋上に緑化を計画することで、周辺に溶け込む建物となるよう計画した。	その他 特に無し
<b>Q1 室内環境</b>	事務所スペースには開口部を多く設けることで、採光及び通風などの自然エネルギーを積極的に取り込めるように計画した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺に開けた建物となるように、敷地周辺には緑化を積極的に計画した。
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱材は高断熱のものを使用し、建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建設に伴って発生するCO <sub>2</sub> の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に寄与した。また、広告物照明を設けない計画とした。
<b>Q2 サービス性能</b>	仕上材及び配管部材は耐久性の高い部材を選定し、性能が長期保たれるように配慮した。また壁長さ比率を低く設定し、高い階高を確保することで、将来フレキシブルにプラン変更等に対応が出来るように計画した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	建築部材はグリーン購入法適合部材を積極的に採用し、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価入力シート

【建物名称・建設地】

建物名称 (仮称)株式会社 別処電線製造所 本社工場建設工事

建設地 茨木市葦垣内1丁目

CASBEE総合評価

B+

CASBEE評価値

1.0

用途別面積

■用途1(主用途)	用途名	工場	面積	1900.8	m <sup>2</sup>
■用途2	用途名	事務所	面積	393.1	m <sup>2</sup>
■用途3	用途名		面積		m <sup>2</sup>
■用途4	用途名		面積		m <sup>2</sup>
■建物全体			計	2293.90	m <sup>2</sup>

【評価項目】

項目		評価項目	入力内容		評価
① CO2削減率		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.5	4
②みどり・ヒートアイランド対策	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0		2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
③建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		3.8	4
④設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.3	3
⑤自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する・しない		報告しない

再生可能エネルギー利用設備の導入状況				その他先進的技術の導入	
種類	有無	種類	有無	技術の名称	考慮事項
太陽光発電	—	地熱	—		
太陽熱利用	—	バイオマス	—		
風力	—		—		
水力	—		—		
特に配慮した事項		特に無し			



色欄について、プルダウンメニューから選択、または数値・コメントを記入のこと